

動作の開始・終了限界に言及するモンゴル語の補助動詞に関する覚書
— 「*ekile-*」・「*dayus(qa)-*」・「*bara(γa)-*」を中心に—

松岡雄太・巴徳瑪

Memorandum on Mongolian Auxiliary Verbs Indicating to
the Beginning and End of the Action:
Focusing on *ekile-*, *dayus(qa)-* and *bara(γa)-*

MATSUOKA Yuta and BADMA

Abstract

In this article, the meaning and co-occurrence constraint of *ekile-*, *dayus (qa) -* and *bara(γa) -* was discussed, which are some of the many auxiliary verbs in Mongolian.

We mainly investigated the following five items. Firstly, *ekile-* does not co-occur with the state verb *bayi-*. Secondly, Mongolian auxiliary verbs usually appear in the V2 position in the V1+V2 construction, however *ekile-* may come to the V1 position. In this case, *ekile-* has the modal nuances, such as expectation and caution toward the beginning of the action. Thirdly, the difference between *dayus(qa)-* and *bara(γa)-* is considered to be a dialectal one. Then, *bara-(dayus-)* only shows that it reaches the end point, whereas *baraya-(dayusqa-)* has a modal nuance attached to the process until the end. Finally, *bara(γa)-* has some restrictions on co-occurring verb phrases as well as *ekile-*.

キーワード：モンゴル語・補助動詞・開始限界・終了限界

1. はじめに

モンゴル語¹⁾の「*ekile-*」は日本語の「始まる・始める」に、「*dayus-*」は「終わる」、「*dayusγa-*」は「終える」に相当する意味の動詞である。

(1) (a) *kiciyel* ***ekile***=*jei*.

授業 (NOM) 始まる - PAST

<授業が始まった>

(b) *kiciyel* ***dayus***=*cai*.

授業 (NOM) 終わる - PAST

<授業が終わった>

(c) *kiciyel-i* ***dayus=γa***=*jai*.

授業 - ACC 終わる - CAUS - PAST

<授業を終えた>

(1) に挙げた動詞には補助動詞としての用法もあり²⁾、この場合、当該動作がそれぞれ開始と終了の局面にあることを表している。

- (2) (a) Cinggis qan-i Uje=**jU** **ekile**=jei.
 チンギスハン - ACC 見る - CVB 始まる - PAST
 < (映画) チンギス・ハンを見はじめた >
- (b) Cinggis qan-i Uje=**jU** **dayus**=cai.
 チンギスハン - ACC 見る - CVB 終わる - PAST
 < (映画) チンギス・ハンを見終わった >
- (c) Cinggis qan-i Uje=**jU** **dayus**=γa=jai.
 チンギスハン - ACC 見る - CVB 終わる - CAUS - PAST
 < (映画) チンギス・ハンを見おえた >

だが、動作の終了を表す補助動詞には、(2) の「dayus(qa)-」以外にも「bara-」、「baraγa-」、「γar-」、「γarya-」などがあり、例えば、清格爾泰 (1991: 351-357) は次のように意味記述している。

- (3) 清格爾泰 (1991) の記述
 (a) bara-, dayus- : 結束体
 (b) γar-, γarya- : 完成体

清格爾泰 (1991) は「bara-」と「dayus-」及び「γar-」と「γarya-」を区別せずに、ただ前者を「結束体」、後者を「完成体」とのみ記述している。また「bara-」に対する「baraγa-」、「dayus-」に対する「dayusqa-」への言及も見られない。これは「γarya-」は補助動詞と認めるものの、「baraγa-」と「dayusqa-」はそれぞれ「bara-」と「dayus-」の派生形と見なし、補助動詞として認めていないものと推察される。どの形式を補助動詞と認めるにせよ、少なくとも上記の補助動詞間の意味の違いや使用制限などに関する詳細な記述は、管見の限りこれまでなかったように思われる。

本稿ではこれらの表現のうち、「dayus-」「dayusqa-」「bara-」「baraγa-」を対象に、その意味記述と動詞との共起条件について明らかにする。「γar(γa)-」については別稿に譲る³⁾。

2. 「ekile-」

(2) でも指摘した通り、開始限界に言及する補助動詞は「ekile-」である。終了限界に言及する場合、自動詞の「bara- (dayus-)」には本動詞としてペアとなる他動詞の「baraγa- (dayusqa-)」もあるが、開始限界の場合は1種類しかない。なぜなら、本動詞の「ekile-」は自他両用であるため、自動詞か他動詞かは対格助詞の有無によって区別される。

- (4) (a) kiciyel **ekile**=jei.
 授業 (NOM) 始まる - PAST
 < 授業が始まった >

(b) kiciyel-i **ekile**=jei.

授業 - ACC 始める - PAST

<授業を始めた>

(c) kiciyel-iyen **ekile**=jei.

授業 - REFL 始める - PAST

<(先生が自分の担当している)授業を始めた>

補助動詞の「ekile-」は日本語の「はじめる」と同様、ほぼ全ての動詞と共起することができるが、一部の状態動詞「bayi-」とは共起できない。これは状態動詞が動作の開始限界を内在しないためだと考えられる。

(5) * kiciyel bayi=**ju** **ekile**=jei.

授業(NOM) ある - CVB 始める - PAST

<授業がありはじめた>

また、動作の開始限界と終了限界の間の局面が短い、いわゆる「瞬間動詞」と呼ばれる動詞と結合すると、単数主語の解釈が難しくなり、複数主語の動作の開始として解釈されることになる。

(6) suruycid orun-du-ban sayu=**ju** **ekile**=jei.

学生たち(NOM) 席 - DAT - REFL 座る - CVB 始める - PAST

<学生たちが席に座りはじめた>

「sayu-」は主語が単数の場合、すなわち「一人の人が席に座ろうと腰を下ろしはじめた」という解釈は難しく、(6)のように複数主語のうち最初の数名が座席に座っていき、まだ全員が座っていない段階を表すことは可能である。仮に一人の人が席に座りはじめている状況を表すのであれば、(7)のように言う必要がある。

(7) tere sayu=qu ge=jU bayi=n_a.

彼(NOM) 座る - VN 言う - CVB いる - PRES

<彼が(席に)座ろうとしている>

二つの動詞を組み合わせる際に、仮に前の動詞をV1、後ろの動詞をV2と呼ぶなら、通常、モンゴル語の補助動詞はV2の位置に現れる。ところが、「ekile-」については清格爾泰(1991)でも指摘されているように、「ekile-」をV1の位置に持ってくることもできる。

(8) (a) boruyan **oru**=ju **ekile**=jei.

雨(NOM) 降る - CVB 始める - PAST

<雨が降りはじめた>

- (b) boruyan **ekile=ged** **oru=ciqa=jai**.
 雨(NOM) 始める - CVB 降る - ACP - PAST
 <雨が降りはじめた>

(8)は(a)と(b)ともに言えるが、以下で見るように、「-ju ekile-」が言えず、「ekile-」をV1の位置に持ってこなければならない状況もある。

(9) [試験前日、先生は事前に教室の机の上に受験番号の紙を貼らなければならない。学生にそれを手伝わしている]

- (a) * Yamada tere cayasu-yi qurdun **naya=ju** **ekile=geri**.
 山田 その 紙 - ACC 早く 貼る - CVB 始める - IMP

- (b) Yamada tere cayasu-yi qurdun **ekile=jU** **naya=γarai**.
 山田 その 紙 - ACC 早く 始める - CVB 貼る - IMP

<(先生が)山田君、早く、その紙、貼りはじめてください。>

(10) [まだ歩けなかった1歳の子供がついに一人で歩けるようになった]

- (a) ?? OcUgedUr-ece minU kUU γaycayar-iyān **alqu=ju** **ekile=jU**
 昨日 - ABL 私(POSS) 息子 一人 - REFL 歩く - CVB 始める - CVB
 bayi=n_a
 いる - PRES

- (b) OcUgedUr-ece minU kUU γaycayar-iyān **ekile=ged** **alqu=ju**
 昨日 - ABL 私(POSS) 息子 一人 - REFL 始める - CVB 歩く - CVB
 bayi=n_a
 いる - PRES

<昨日からうちの子は一人で歩きはじめた>

(11) [渋滞していた車が徐々に動き出した]

- (a) ?? terge ecUs-tU-ben **kOdel=jU** **ekile=jei**.
 車 末 - DAT - REFL 動く - CVB 始める - PAST

- (b) terge ecUs-tU-ben **ekile=ged** **kOdel=jei**.
 車 末 - DAT - REFL 始める - CVB 動く - PAST

<車がやっと動きはじめた>

(9)～(11)は「-ju ekile-」が不自然になる。「ekile=jU」、「ekile=ged」をV1の位置に持ってこなければならないこれらの状況には⁴⁾、その動作の開始に何らかの期待感があり、相手に動作の開始を促したい、又は、動作の開始を特に相手に強調したい、といった意味合いが含まれていると考えられる。これに対して、「-ju ekile-」は単にその動作の開始を描写している。

また、「ekile=ged」が前に来る場合は、日本語の「はじめて～した」といった表現に近く、副詞として使われているとも考えられる。

- (12) (a) ?? tabun nasun-aca-ban mori **unu=ju** **ekile=jei**.
 五 歳 - ABL - REFL 馬 乗る - CVB 始める - PAST
 (b) tabun nasun-aca-ban **ekile=ged** mori **unu=jai**.
 五 歳 - ABL - REFL 始める - CVB 馬 乗る - PAST
 <5歳のときから馬に乗りはじめた>
- (13) (a) ?? dOrben cay-aca qoyula **ki=jU** **ekile=kU** sanaG_a-tai.
 四 時 - ABL ご飯 作る - CVB 始める - VN 考え - COM
 (b) dOrben cay-aca **ekile=ged** qoyula **ki=kU** sanaG_a-tai.
 四 時 - ABL 始める - CVB ご飯 作る - CVB 考え - COM
 <4時からご飯を作りはじめるともりだ>
- (14) (a) Taruu tamir-un talabur-tu γaycayar-iyān **gUyU=jU** **ekile=jei**.
 太郎(NOM) 運動場 - DAT 一人 - REFL 走る - CVB 始める - PAST
 <太郎は運動場で一人で最初に走りはじめた>
 (b) Taruu tamir-un talabur-tu **ekile=ged** bol γaycayar-iyān **gUyU=jei**.
 太郎(NOM) 運動場 - DAT 始まる - CVB FP 一人 - REFL 走る - PAST
 <太郎は運動場で最初は一人で走った>

(12)~(14)は「ekile-ged」と動詞のあいだに目的語、助詞や副詞が入っている。このことから「ekile-ged」は副詞化していると考えられる。

最後に、以下の(15)のように、「-ju ekile-」も可能であるが、従属節の中では「-ju ekile-」が言いにくくなることもあるようである。この点に関する詳細は今後の課題としたい。

- (15) (a) ebedcin ecUs-tU-ben **edegere=jU** **ekile=jei**
 病気(NOM) 末 - DAT - REFL 治る - CVB 始める - PAST.
 <病気がやっとう治りはじめた>
 (b) ?? ebedcin **edegere=jU** **ekile=kU** ni ciqula ucir-aca
 病気(NOM) 治る - CVB 始める - VN NOM 肝心 わけ - ABL
 bitegei eregelje=gerei.
 NEG 油断する - IMP
 (c) ebedcin **ekile=ged** **edegere=kU** ni ciqula ucir-aca bitegei eregelje=gerei.
 病気(NOM) 始める - CVB 治る - VN NOM 肝心 わけ - ABL NEG 油断する - IMP
 <病気は治りはじめが肝心だから油断しないでください>

3. 「dayus-」と「bara-」

次に、動作の終了局面を表す形のうち、まずは自動詞の「dayus-」と「bara-」の違いから考察する。

- (16) (a) Cinggis qan-i Uje=**jU** **dayus=cai**.
 チングス・ハン - ACC 見る - CVB 終わる - PAST

(b) Cinggis qan- i Uje=**ju** **bara**=jai.
 チンギス・ハン ACC 見る - CVB 終わる - PAST
 <(映画)チンギス・ハンを見終わった>

(16b)は(2b)の「dayus-」を「bara-」に置き換えた文であるが、内蒙古諸方言においてこれらの文の間に意味の違いはほとんど見られない。すなわち、内蒙古諸方言では「dayus-」は「bara-」に、同様に「dayusqa-」は「baraya-」に置き換えられ、主に後者を使用する⁵⁾。これに対して、ハルハ方言では逆に「bara(γa)-」ではなく「dayus(qa)-」を主に使用している⁶⁾。この違いは専ら方言差によるものと考えられる⁷⁾。以降、本稿では「bara(γa)-」を考察の対象とする。

また、動作の終了局面に言及する「bara-」は、「ekile-」と比べて共起する動詞 (V1) に多くの制約がある。第一に、「ekile-」と同様、状態動詞と共起する場合は非文となる。これは状態動詞が動作の終了限界を語彙的に持たないためだと考えられる。

(17) * kiciyel bayi=**ju** **bara**=jai.
 授業 (NOM) ある - CVB 終わる - PAST
 <授業があり終わった>

第二に、「bara-」は動作の終了限界に明確でないか、明示する必要のない動詞とは共起しにくい。

(18) (a) [試験前日、先生は事前に教室の机の上に受験番号の紙を貼らなければならない。学生にそれを手伝わせている]

baGsi cayasu-yi bUr-i naya=**yad** **bara**=jai.
 先生 紙 - ACC 全部 - ACC 貼る - CVB 終わる - PAST
 <(学生が)先生、紙を全部貼りおわりました。>

(b) orui-yin qoyula-ban nigente ide=**ged** **bara**=γsan uu?
 晩 - GEN ご飯 - REFL すでに 食べる - CVB 終わる - VN QP
 <晩御飯をもう食べ終わったの?>

(18)は動作の終了限界が明確である。貼る紙の数は予め決まっているだろうし、出された晩御飯の量も決まっている。しかし、以下の(19)~(21)は非文になる。

(19) (a) * ergin toyurin nigente qarangyui **bol**=ju **bara**=jai.
 辺り (NOM) すでに 暗い なる - CVB 終わる - PAST
 <辺りがすでに暗くなり終わった>

(b) ergin toyurin nigente qarangyui **bol**=jai.
 辺り (NOM) すでに 暗い なる - PAST
 <辺りがすでに暗くなった>

(20) [渋滞していた車が徐々に動き出した]

(a) * terge ecUs-tU-ben **kOdel=jU** **bara=jai**
 車(NOM) 末-DAT-REFL 動く-CVB 終わる-PAST

<車がとうとう動きおわった>

(b) terge ecUs-tU-ben **kOdel=jei.**
 車(NOM) 末-DAT-REFL 動く-PAST

<車がとうとう動いた>

(19a)と(20a)が非文になるのは、どこまで暗くなったら暗くなるという動作(変化)が終わるのか、停まっている車が動いたら「動きはじめた」ことにはなっても、どこまで動いたら動きおわることになるのかは明確でないためだと考えられる。

(21) (a) * ebedcin nigente **edegere=jU** **bara=jai.**
 病気(NOM) もう 治る-CVB 終わる-PAST

<病気はもう治りおわった>

(b) ebedcin nigente **edegere=cike=jei.**
 病気(NOM) もう 治る-ACP-PAST

<病気はもう治ってしまった>

病気の症状がやわらぎはじめたのが「治りはじめ」だとしても、病気の症状が完全になくなるのが「治りおわり」であることは明白であるから、(21)の場合は、わざわざ終了限界に言及する必要がないのだろう。

第三に、終了限界が明確であっても、移動を表す動詞とは共起しにくい。

(22) (a) ?? ayan-du yabu=**ju** **bara=jai.**
 旅行-DAT 行く-CVB 終わる-PAST

<旅行に行きおわった>

(b) ?? suruGci kiciyele=kU-ber yabu=**ju** **bara=jai.**
 学生(NOM) 授業する-VN-INST 行く-CVB 終わる-PAST

<(一人の)学生が授業に行きおわった>

(22a)の「ayan」は終了限界が明確でない例、(22b)は終了限界が明確な例であるが、共に非文となる。移動を表す動詞とは共起しにくいことを表している⁸⁾。

最後に、いわゆる瞬間動詞と呼ばれる動詞と共起する場合は、単数解釈が難しく、複数解釈のみ許容する点、「ekile-」のときと同様である。

- (23) namur bol=ju modun-u nabci una=**ju** **bara**=jai.
 秋 なる - CVB 木 - GEN 葉 落ちる - CVB 終わる - PAST
 <秋になり、木の葉が落ち終わった>

以上見てきたように、モンゴル語の補助動詞「bara-」は日本語の「～しおわる」と用法が極めて類似していると言える。

4. 「bara-(dayus-)」と「baraya-(dayusqa-)」

次に、動作の終了局面を表す形のうち、自動詞の「bara-(dayus-)」と他動詞の「baraya-(dayusqa-)」の違いについて考察する。

- (24) (a) Cinggis qan-i Uje=jei.
 チンギス・ハン - ACC 見る - PAST
 <チンギス・ハンを見た>
- (b) Cinggis qan-i Uje=**jU** **bara**=jai.
 チンギス・ハン - ACC 見る - CVB 終わる - PAST
 <チンギス・ハンを見終わった>
- (c) Cinggis qan-i Uje=**jU** **bara**=**ya**=jai.
 チンギス・ハン - ACC 見る - CVB 終わる - CAUS - PAST
 <チンギス・ハンを見おえた>

(24a)は、映画『チンギス・ハン』を見たという事実を言及しているだけである。すなわち、映画を最後まで見ずに途中まで見ただけでも、(24a)は成立する。これに対して、(24b)は上述した通り、映画『チンギス・ハン』を見終わったという解釈になり、その映画を最後まで見たことを述べている。ただ、(24b)の場合、動作の終了限界に着眼点があるだけで、最初から最後まで見つづけたかどうかは分からない。これに対して、(24c)は、(24b)同様に映画『チンギス・ハン』を見終わったという解釈だが、それに加えて、例えば、この映画は長い映画だったけど集中して最初から最後まで見た、といったニュアンスが含まれている。このように「baraya-(dayusqa-)」は終了限界に達成したことのみならず、終了限界に至るまでの過程にも何らかの含意を含んだ表現だと考えられる。

- (25) jiryuyan cay bol=tal_a qoyula-yi ki=**jU** **bara**=**ya**=qu sanaG_a-tai.
 六時 なる - まで ご飯 - ACC 作る - CVB 終わる - CAUS - VN 考え - COM
 <6時までにご飯を作りおわるつもりだ>

(25)も「6時まで」 という副詞句があることによって、「bara-」よりも「baraya-」のほうがより自然である。このような「baraya-」の終了限界に至るまでの過程に対する含意は、本動詞「baraya-」が他動詞であり、主語に意志性があることから来ているものと推測される。

「baraya-」も「bara-」と同様に、終了限界が明確でない状況で用いるのは難しい。例えば(26a)はど

こまでも走ることができる状況であるのに対して、(26b)は20キロというあらかじめ指定された終了限界に達したことを表している。

- (26) (a) * Taruu γaycaγar-iyān tamir-un talabur-i gUyU=**jU** **bara=γa=jai**.
 太郎(NOM) 一人-REFL 運動場-ACC 走る-CVB 終わる-CAUS-PAST
 <太郎は一人で運動場を走り終わった>
- (b) Taruu γaycaγar-iyān 20KM-i gUyU=**jU** **bara=γa=jai**
 太郎(NOM) 一人-REFL 20KM-ACC 走る-CVB 終わる-CAUS-PAST
 <太郎は一人で20キロを走り終わった>

5. パラディグマティックな関係

最後に、「ekile-」と「bara(γa)-」の対立関係について考察する。まず、「ekile-」と「bara(γa)-」は以下の(27)で見るとおり、統合関係をなさない。つまり、両形式はパラディグマティックな関係にあると考えられ、このことから現代モンゴル語には、動作の開始限界と終了限界に言及するアスペクト的なカテゴリーがあると考えられる。

- (27) (a) * tere ajil-iyān ki=**jU** **ekile=jU** **bara=jai**.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 始まる-CVB 終わる-PAST
 <彼は仕事をしはじめ終わった>
- (b) * tere ajil-iyān ki=**jU** **bara=ju** **ekile=jei**.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 終わる-CVB 始める-PAST
 <彼は仕事をしおわりはじめた>

次に、モンゴル語には補助動詞「bayi-」や接辞「-ciqa-」のような別のアスペクト形式も存在する。これらとの関係を見たとき、「ekile-」と「bara(γa)-」はこれらの形式と共起可能であるため、モンゴル語には複数のアスペクト的なカテゴリーがあると考えられる。

- (28) (a) ? tere ajil-iyān ki=**jU** **ekile=jU** **bayi=n_a**.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 始める-CVB いる-PRES
- (b) tere ajil-iyān ki=**jU** **ekile=ged** **bayi=n_a**.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 始める-CVB いる-PRES
 <彼は仕事をしはじめている>
- (c) ? tere ajil-iyān ki=**jU** **bara=ju** **bayi=n_a**.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 終わる-CVB いる-PRES
- (d) tere ajil-iyān ki=**jU** **bara=γad** **bayi=n_a**.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 終わる-CVB いる-PRES
 <彼は仕事をしおわっている>

(c) tere ajil-iyān ki=**jU** **ekile=cike**=jei.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 始める-ACP-PAST
 <彼は仕事をしはじめてしまった>

(f) tere ajil-iyān ki=**jU** **bara=ciqa**=jai.
 彼(NOM) 仕事-REFL する-CVB 終わる-ACP-PAST
 <彼は仕事をしおわってしまった>

(29) 動词语幹 + (ヴォイス) + (アスペクト1) + (アスペクト2) + (アスペクト3) + テンス

-ju/γad ekile- -ciqa- -ju/γad bayi- -ba
 -ju/γad bara(γa)- -jai
 -l_a

(主節の場合)

本稿で扱った形式以外にもモンゴル語にはアスペクト的意味を表す補助動詞はまだ存在するので、上の(29)はむしろ暫定的なものである。今後の調査結果いかんによって、アスペクト4、アスペクト5とカテゴリーの数が増える可能性はある。

6. 結論

本稿では現代モンゴル語における開始・終了限界に言及する補助動詞、「ekile-」、「dayus(qa)-」「bara(γa)-」について、日本語と若干の対照を加えながら考察してきた。今後は「γar(γa)-」など終了限界に言及するほかの形式との違いなども明らかにしていかなければならないが、本稿で扱った形式は、暫定的ではあるものの、(30)のような体系をなしている可能性があるとは結論づけられる。

(30) モンゴル語における開始/終了限界に言及する補助動詞の体系 (暫定)

	終了限界	
開始限界	終了限界に至るまでの過程	
	無標	有標
ekile-	bara- (dayus-)	baraγa- (dayusqa-)

略号

ABL: ablative ACC: accusative ACP: aspectual particle CAUS: causative COM: comitative

CVB: converb DAT: dative-locative FP: focus particle IMP: imperative INST: instrumental

GEN: genitive NEG: negative NOM: nominative PAST: past tense PRES: present tense

POSS: possessive QP: question particle REFL: reflexive VN: verbal noun

_ : 語末分かち書き母音 - : 助詞境界 = : 接辞境界

注

- 1 本稿では主に中国内蒙古自治区東部で話されているホルチン方言を対象とする。また、例文中におけるモンゴル語の表記は清格爾泰(1991)に従い、GrQnbech方式によって転写したものである。
- 2 日本語の「～しはじめる」「～しおわる」を複合動詞とする研究があるように(金水ほか2000: 74-75)、定義いかんによっては「ekile-」や「dayus-」を補助動詞として認めない立場もありうるが、本稿ではBadma・Matsuoka(2017)で提示した基準に従って、これらを補助動詞と認める立場を取る。
- 3 「yar-」については斯欽格日樂(2015)に考察がある。
- 4 「ekile-jU」と「ekile-ged」の違いについては別稿に譲る。
- 5 2017年9月に内蒙古大学で学ぶモンゴル人学生21名(被験者の出身地は黒竜江省1名、吉林省1名、興安盟2名、通遼市5名、赤峰市6名、錫林郭勒盟4名、鄂爾多斯市1名、阿拉善盟1名)を対象に、「bara-」と「dayus-」のどちらをよく使うか、また両者に違いがあるとしたら、どんな違いがあると思うかについて、アンケート調査を行った。「dayus-」の方をよく使うと答えたのは錫林郭勒盟出身者の1名のみで、「bara-」と答えたものは13名、どちらとも言えないと答えたものが6名、1名が無回答であった。また両者の違いについては「dayus-」の方が文語的に感じると答えたものがあった。
- 6 ただし、ハルハ方言でも「dayus-」ではなく「bara-」を使うべき状況がある。
 örgeṅ tal a-yi tuṅgula=ju {bara-/dayus-}=ṅsan.
 広い 草原-ACC 渡る-CVB 終わる-VN
 <広い草原を渡りおえた>
 上の例の場合、「bara-」は「当該動作を終えるのに時間がかかった、苦労した」といったニュアンスになる。これは後述するホルチン方言の「baraya-」の意味に似ている。
- 7 本動詞の「bara-」は「なくなる・切れる(切らす)」といった意味であり、本動詞の「ekile-」とペアになるのは「dayus-」だと考えられる。
 (a) *kiciyel bara=jai.
 授業(NOM) 終わる-PAST
 <授業がなくなった>
 (b) joyos bara=jai.
 金(NOM) 終わる-PAST
 <金がなくなった=金を使い切った>
 (c) buday_a bara=jai.
 米(NOM) 終わる-PAST
 <米がなくなった=米を切らした>
- 8 ただし、主語が複数の場合に可能になる例もある。
 [長期休暇明けに学生たちが実家から学校に戻ってきた場合]
 suruGcid bayiri-du-ban ire=ju bara=jai
 学生たち(NOM) 寮-DAT-REFL 来る-CVB 終わる-PAST
 <学生たちが寮に来おった>

参考文献

- 影山太郎(1993)『文法と語形成』、ひつじ書房
- 金水敏・工藤真由美・沼田善子(2000)『時・否定と取り立て(日本語の文法2)』、岩波書店
- 工藤真由美(1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現—』、ひつじ書房
- 斯欽格日樂(2015)「モンゴル語の補助動詞《yar-》の機能について」『日本モンゴル学会紀要』45: 9-23.
- 清格爾泰(1979; 1991)『Odu üy_e-yin mongyol kele-n jüi』(『蒙古語語法』)、内蒙古人民出版社
- 寺村秀夫(1984)『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』、くろしお出版
- 巴德瑪(2012)「日本語とモンゴル語における補助動詞の対照研究」、博士論文(神戸大学)
- 巴德瑪(2014)「日本語から見たモンゴル語の補助動詞について」『国文学研究ノート』52: 1-15.
- Badma・Matsuoka(2017)「Odu Üye yin Mongvul Kelen u Tusalaqu Üyile Üge yin Sodulavan u Bayidal jici Orusiju Bayiya Asayudal un Tuqai」『内蒙古師範大学学报哲学社会科学蒙文版』46(2017-3): 59-64.

本研究はJSPS 科研費17K13453の助成を受けて行われている。

